

等式(★) $x^2 - xy + y^2 = 2$ を満たす実数 x, y に対し, $x^3 + y^3 + 3xy$ の最大値と最小値を以下の手順で求めよう。

(1) まず, $p = x + y, q = xy$ とおき, $x^3 + y^3 + 3xy$ を p, q を用いた式で表すと, **ア** となる。

(2) 次に, $x^3 + y^3 + 3xy$ を p のみを用いた式で表そう。

等式(★) を p, q を用いて書き直し, q について解くと $q =$ **イ** となる。したがって, $x^3 + y^3 + 3xy$ を p を用いて表せば **ウ** となる。

(3) p のとり得る値の範囲を求めよう。

x, y を解とする t についての方程式は $t^2 - pt +$ **イ** $= 0$ であり, この2次方程式が実数解をもつための必要十分条件を p を用いて表すと **エ** となる。したがって, p がとり得る値の範囲は **オ** である。

(4) 以上より, $x^3 + y^3 + 3xy$ の最大値と最小値を求める問題は **オ** の範囲における **ウ** の最大値と最小値を求める問題に帰着され, 次のように求まる。

$(x, y) =$ **カ** のとき, 最大値 **キ** をとり,

$(x, y) =$ **ク**, **ケ** のとき, 最小値 **コ** をとる。

日本入

$$\begin{aligned} & x^3 + y^3 + 3xy \\ (1) \quad &= (x+y)(x^2 - xy + y^2) + 3xy \\ &= (x+y)\{ (x+y)^2 - 3xy \} + 3xy = p(p^2 - 3q) + 3q \\ &\therefore \underline{p^3 - 3pq + 3q} \quad \text{--- (2)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & x+y = p, \quad x^2 - xy + y^2 = 2 \\ & p^2 - 3q = 2 \\ & 3q = p^2 - 2 \\ & \therefore \underline{q = \frac{p^2 - 2}{3}} \quad \text{--- (1)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & p^3 + 3q(1-p) = p^3 + (p^2 - 2)(1-p) \\ &= p^3 + p^2 - p^3 - 2 + 2p \\ &= \underline{p^2 + 2p - 2} \quad \text{--- (3)} \end{aligned}$$

$$t^2 - pt + \frac{p^2 - 2}{3} = 0 \quad \text{判別式 } D \geq 0 \text{ より}$$

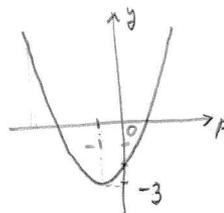
$$p^2 - 4\left(\frac{p^2 - 2}{3}\right) \geq 0$$

$$3p^2 - 4p^2 + 8 \geq 0$$

$$\underline{p^2 \leq 8} \quad \text{--- (2)}$$

$$\underline{-2\sqrt{2} \leq p \leq 2\sqrt{2}} \quad \text{--- (オ)}$$

$$(p+1)^2 - 3$$



$p = 2\sqrt{2}$ のとき最大値 $6 + 4\sqrt{2}$ --- (キ)

\therefore $x^2 - 2\sqrt{2}x + 2 = 0$ より $(x - \sqrt{2})^2 = 0$

$$(x, y) = (\sqrt{2}, \sqrt{2}) \quad \text{--- (カ)}$$

$p = -1$ のとき最小値 -3 --- (コ)

$$x^2 + x - \frac{1}{3} = 0 \rightarrow 3x^2 + 3x - 1 = 0$$

$$x = \frac{-3 \pm \sqrt{21}}{6} \quad (x, y) = \left(\frac{-3 + \sqrt{21}}{6}, \frac{-3 - \sqrt{21}}{6} \right), \left(\frac{-3 - \sqrt{21}}{6}, \frac{-3 + \sqrt{21}}{6} \right) \quad \text{--- (クケ)}$$